



市議会報あやせ

平成15年(2003年)11月
発行 綾瀬市議会
☎0467-77-1111
編集 議会報編集委員会



「ゆっくり、だけど急いで！」暖かい秋晴れのもと、6年生のお兄さんお姉さんと1年生が力を合わせゴールまでがんばりました<9月27日、綾南小学校にて>

平成14年度6会計決算を賛成多数で認定

決算総額は376億5393万円に

9月定例会

九月定例会が、九月二日から二十四日までの二十三日間の会期で開かれました。この定例会では、平成十四年度六会計決算、平成十五年度一般会計補正予算ほか二特別会計補正予算、基金の処分の特別に関する条例の制定及び職員の退職手当に関する条例の一部改正、教育委員会委員の任命など市長から提出された十三議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意。議員提出議案は、意見書三件を可決しました。(審議結果は八ページに掲載)陳情は三件を趣旨了承、三件を趣旨不了承と決しました。

市民一人当たりの
一般会計決算額は
約27万3千円に

九月定例会に市長から提出された議案のうち、平成十四年度六会計決算は、歳入総額が三百八十七億六千九百三十四万円、歳出総額が三百七十六億五千三百九十三万円で、前年度と比較し歳入では一・〇%の増、歳出では〇・七%の増となりました。決算額の約六割を占める一般会計では、歳入が対前年度比一・七%増の二百三十二億四千三百八万円で、その内訳として市税等の自主財源が六一・〇%、国庫支出金等の依存財

源が三八・〇%。歳出は、対前年度比一・五%増の二百二十三億二千九百二十八万円で、主なものとしては、(仮称)中央緑道や市道整備などに要した土木費が五十五億七千三百三十一万円で二五・〇%を占め、次に、綾南保育園の改築などに要した民生費が四十六億四千五百一十一万円で二〇・七%を占めています。なお、市民一人当たりの決算状況としては、市税の納税額約十四万六千円に対し、一般会計の歳出額は約二十七万三千円となりました。

また、国民健康保険事業では一人当たりの療養給付費が約十二万二千円に、老人保健医療事業では一人当たりの医療給付費が約五十五万五千円になりました。下水道事業では終末処理場六池目の水処理電気工事業や

管きよ整備を進め、下水道人口普及率が九一・二%となりました。深谷中央特定土地区画整理事業では、主に宅地造成や移転移設補償を行い、事業進捗よく率が事業費ペースで三七%となりました。介護保険事業では居宅介護や施設介護等のサービス利用に対する保険給付費の増により、対前年度比十三・三%の増でした。補正予算は、一般会計と国民健康保険、介護保険の二特別会計の総額で三億二千四百八万五千円を追加するもので、市道三号線などの用地取得、緊急地域雇用創出特別対策に係る事業の追加が主なものです。条例関係は、雇用保険法及び国家公務員退職手当法の改正に伴う職員の退職手当に関する条例の一部改正と、基金の預入金金融機関において保険事故が発生した場合に基金と借入金を相殺処分できるように基金の処分の特別に関する条例の制定を可決しました。そのほか、高規格救急自動車の動産取得を可決しました。

教育委員会委員に 福島剛氏を再任

教育委員会委員の任命については、福島剛氏(大和市)を再任することに全会一致で同意しました。議員提出議案では、意見書三件を可決し、国会及び政府関係機関に提出しました(意見書は七ページに掲載)。

議会の動き

- 8月
 - 20日 議会全員協議会
 - 26日 議会運営委員会
- 9月
 - 2日 9月定例会本会議(初日)・議会全員協議会・議会運営委員会
 - 3日 9月定例会本会議(第2日)・議会
- 10月
 - 14日~16日 教育福祉常任委員会行
- 8月
 - 5日 議会全員協議会
 - 8日 教育福祉常任委員会
 - 9日 経済建設常任委員会
 - 9日 総務常任委員会
 - 16日 基地対策特別委員会
 - 18日 9月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会
 - 19日 9月定例会本会議(第4日)・議会
 - 24日 9月定例会本会議(最終日)・議会全員協議会・議会報編集委員会
- 11月
 - 31日 議会報編集委員会
 - 5日~7日 総務常任委員会行政視察(京都府亀岡市・兵庫県芦屋市・大阪府茨木市)
 - 20日 議会全員協議会
 - 28日~30日 経済建設常任委員会行政視察(福井県敦賀市・鯖江市・福井市)
 - 政視察(福島県いわき市・宮城県岩沼市・仙台市)